

兵庫県のに漁場環境情報 (東播海域 臨時 号)

2022年12月20日発行
 兵庫のに研究所

海域西部において、キートセロスを主体としてリゾソレニア、レプトシリンダラス等多種の珪藻類が、依然多く発生しています。満潮時の調査ということもあり、窒素は魚住漁場以東で概ね3~5 $\mu\text{g-at/L}$ 台、二見漁場以西では、陸水等の影響が見られる地点を除き、概ね1 $\mu\text{g-at/L}$ 台の値となっています。

(水温) 漁場内平均12.7 $^{\circ}\text{C}$ 。平年比1.7 $^{\circ}\text{C}$ 、昨年比2.6 $^{\circ}\text{C}$ ともに低い。(塩分) 平均32.07psu。前回(31.99)より約0.1psu高い。
 (栄養塩、珪藻) 海域東部では、明石海峡部の海水の影響が見られ、小型珪藻のキートセロス、レプトシリンダラスは確認されるが、発生量は少ない。海域西部では、キートセロス、リゾソレニア、レプトシリンダラス等、多種の珪藻が依然多く確認された。高砂漁場では、リゾソレニアの発生量は少ないが、大型珪藻のユーカンピアが確認された。別府漁場地先では、陸水等の影響によりアンモニア態窒素の値がやや高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	14.1	12.7	14.4	15.3
窒素	2.6	3.5	5.7	4.4
リン	0.42	0.50	0.57	0.49

(12/15)

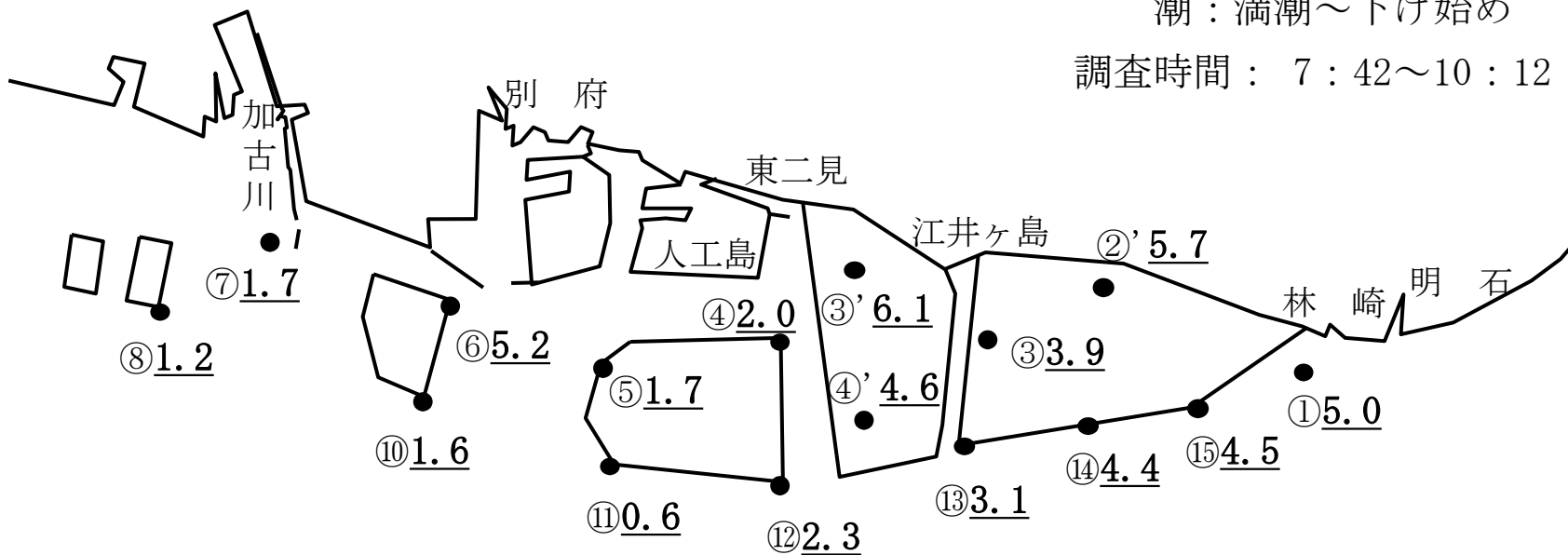
(12/16)

2022年12月20日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：満潮～下げ始め

調査時間：7:42~10:12



水温図

